

# 「傾聴(けいちょう)」とは何か

9月24日(日)

どなたでも  
参加自由!

場所:本堂 勉強会 14時~16時 / 交流会 16時~18時

お話:傾聴ボランティアグループ よりそい

傾聴(けいちょう)とは辞書によると、「耳を傾けて熱心にきくこと」とあります。

子どもがお母さんにお話を聞いてもらいたくて、お母さんのエプロンを引っ張りながら「ねえねえお母さん。あのね～」としゃべり出すと、お母さんが「今、お母さんは忙しいの!」とって子どもを遠ざけるというようなシーンはよく見られます。

そうされた子どもは不満な顔をしたり、すねたり、泣きだしたりします。私たち大人でも、会社で腹の立つことがあったり、トラブルがあったりした時、帰りに同僚にそれをぶちまけて、スッキリした、という経験をお持ちの方は多いと思います。しかし、後で、「あそこまでしゃべってしまったけど、誰かにバラされへんかな」と心配になってくることもあります。—「傾聴ボランティア」という活動があります。

「えーっ、聴くボランティアがあるの?」と思われる方もあるでしょう。大人だって誰かにしっかり聞いてもらいたいときがあります。しかし、安心できる人でないためです。今回は「傾聴ボランティアグループ よりそい」の方に「傾聴とは、どう聴くことなのか」、「何のためにするのか」、「個人の秘密をどう守るのか」「自分自身にストレスは溜まらないのか」など、実際の活動の様子を聞きながら学ばせて頂きたいと思います。



檀信徒以外の方も、曹洞宗以外の方も、初めての方も、お気軽にご参加ください。

二十五三昧会(にじゅうござんまいえ)とは、お寺が中心となり「メンバーの誰かがヘルプを願い出たら、みんなで出来る範囲のお手伝いをしよう」など、ゆるやかな人的交流の互助的な共同体です。入会費や制限など一切ありません、詳しくはお寺までご連絡を。(平日10時~16時)

会員  
募集中

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203